

「はばたけ世界へ！国際ネットワーク応援プログラム」公募要領

1. 公募の概要

1.1 目的

本プログラムは、第一三共「はばたく次世代」応援寄付プログラムに基づき、筑波大学における国際共同研究ネットワークの構築を加速し、幅広い分野にわたる基礎研究に新たなシナジーを生み出すことを目的とします。これにより、国際共同研究プロジェクトの創出や、質の高い国際共著論文数の増加を図り、将来的には地球規模の社会課題の解決にも貢献することを目指します。

本目的の達成のため、国際連携プロジェクト支援を実施するとともに、応募準備段階では、国際的な研究チームの形成や異分野連携に関するアドバイスの提供や研究交流を支援するアドバイザー制度を導入します。採択後には、国際ネットワークの構築と拡大、海外ファンドの獲得、国際的な産学連携の促進など、質の高い研究成果の創出に向けた戦略的支援として、国際ダブルメンター制度を導入し、伴走支援を行うことで、国際連携の基盤を強化します。本学の研究者が中心となり、国内外の研究者と国際ネットワークを構築し、国際共同研究を主導することで、日本および世界における基礎研究力の強化・発展に寄与します。また、大学院生やポスドク等の若手研究者の国際共同研究への積極的な参加を促し、世界で活躍できる研究者を育成することで、持続的な基礎研究力の向上を図ります。

2. 支援内容

本プログラムでは、国際連携の基盤構築並びに国際的な研究コミュニティにおけるプレゼンスの向上に資する国際共同研究の提案を募集します。

以下を目的とする国際共同研究プロジェクトを対象に支援を行います。

1. 最先端の研究開発につながる国際的ネットワークの構築・拡大
2. 国際頭脳循環を促進し、国際的なトップ水準の研究機会を若手研究者等へ提供することによる次世代のトップ研究者育成

2.1 支援金額・件数：プロジェクトあたり 320 万円以下 x 5 件

1 件あたりのプロジェクト内訳（目安）

- プロジェクト支援金（詳細は「2.3 支援金用途」を参照）：270 万円以下
- 国際ダブルメンター活用費（謝金、旅費など）：50 万円以下

2.2 支援期間：2025 年 8 月-2027 年 2 月

2.3 支援金使途

本プロジェクトにより配分される支援金の使途として下記のような用途を想定しています。（これらの使途に限定するものではありません）

- ① 海外渡航費
- ② 共同研究実施費
- ③ 国際ネットワーク構築に必要な人件費
- ④ ワークショップ等の開催費
- ⑤ 成果発表のための経費

2.4 アドバイザー制度

研究者が本プログラムへの応募準備を行う段階で、必要に応じて「アドバイザー制度」を活用し、国際的なチーム形成や異分野連携などのアドバイスを受けることができます。本制度の利用をご希望の場合にはお問合せください。（「7. 問い合わせ先」宛）

3. 応募要件

3.1 対象研究分野：すべての基礎研究分野

※基礎研究分野の定義：

本プログラムにおける基礎研究分野とは、学術的知見の創出や新たな概念の構築を目的とし、目前の事業化や社会実装にとらわれず、10年先、20年先、100年先の科学技術や社会の発展に寄与することを目指す研究を指します。

3.2 応募要件

- ・ 応募者は本学の常勤研究者であること
- ・ 応募者を含む国際連携研究グループを形成し応募すること

◆研究グループに求める条件：

- コアメンバー4名以上（日本側2名以上、海外側2名以上）
- 若手研究者（大学院生などを含む）2名以上（日本側1名以上、海外側1名以上）

※若手研究者の定義：

本プログラムにおける若手研究者とは、応募時点で大学院博士課程または修士課程に在籍する者、または博士号取得後8年未満の研究者を指します（出産・育児・介護等による研究中断期間がある場合、その期間を除外して計算します）。

4. 応募方法

応募者は、本要領に加え、公募詳細を記載した下記ウェブサイトを熟読のうえ、申請書を作成し応募してください。

<URL: <https://ura.sec.tsukuba.ac.jp/44938>>

4.1 申請書様式

申請書は以下よりダウンロード可能です。

<URL: <https://ura.sec.tsukuba.ac.jp/44938>>

4.2 提出方法

作成した申請書は、学内公募支援システム（u-Rad）を通じて提出してください。詳しくは以下をご確認ください。<https://ura.sec.tsukuba.ac.jp/u-rad>

4.3 募集〆切：2025年6月16日

5. 審査と結果通知

5.1 審査方法

書面審査と面接審査の結果に基づき合議審査を行い、採否を決定します。

5.2 審査の観点

下記の観点に従い審査を行い採否を決定します。

- (1) 国際共同研究で期待される効果（例：共同研究によるシナジー、若手研究者の育成等）が明確で大きい
- (2) 国際共同研究することでどの様に基礎研究力向上に貢献するのかが明確で、貢献度も大きい
- (3) 提案する研究の目的と重要性が明確であり、高い独自性（新規性、優位性等）と挑戦性を有する
- (4) 目的を達成するための国際研究グループの連携体制・研究環境が整っている
- (5) 国際共同研究の方法と計画が具体的かつ妥当であり実現可能性が高い

5.3 審査結果の通知時期

2025年8月上旬を予定

6. その他

- ① 本プログラムで支援する経費の使途は、学内規程に従うものとします。
- ② 2027年2月までに、研究グループ代表者から事務局が用意する様式に基づく報告書を提出いただきます。

- ③ 2026 年度末までに、事務局は研究グループに対し、広報活動に関する成果発信支援を行います。研究成果を国内外へ発信し、国内にとどまらず、海外のメディアや学術機関にも波及効果を高めます。これにより、国際的な注目を集め、グローバルな視点から研究の社会的インパクトを拡大します。
- ④ 本プログラムの実施終了までに、成果発表会を開催します。研究グループ代表者にプロジェクトの成果をご発表いただきます。
- ⑤ 本プログラムで得られた成果を公表（論文発表など）する際は、謝辞等に以下の記載をお願いいたします。

【日本語】第一三共「はばたく次世代」応援寄付プログラム

【英語】 Daiichi-Sankyo “Habataku” Support Program for the Next Generation of Researchers
なお、本プログラムの支援期間以降での成果発表の際にも、謝辞等への記載をお願いいたします。

7. 問い合わせ先

研究戦略イニシアティブ推進機構 研究マネジメント室
global_ra@un.tsukuba.ac.jp